



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

〈第四五二号〉

寒露 かんろ

十月八日

御船代祭

伊勢神宮の式年遷宮しきねんせんぐうにちなむ六番目のお祭りが九月に行われました。御船代祭みふなしろさいといいます。

御船代祭は九月十七日に内宮、十九日に外宮で行われました。御船代「みふなしろ」とはあまり聞き慣れない言葉ですが、ご神体を納める御器みひしろの御樋代みひしろをさらに納める大きな御器のことをいいます。「ふね（船・舟・槽）」には水上を渡るだけでなく、湯ぶねや酒槽さかぶね、紙漉槽かみすきぶねなど、水や酒を入れる箱形の器という意味があります。一三〇〇年続く遷宮の儀式には、古の言葉や習慣を今の私たちが知る機会にもなっています。

御船代祭の内宮の祭場は、ふだんは立ち入れない特別な場所でした。別宮べつぐうの風日祈宮橋かぜひのみやを渡り、左に折れた川辺。島路川しまじがわの流れを眼前にする広場で、参道は木立の向こうの高みにかすかに見えるだけです。参道は河岸段丘かんだんきゅうの上にあることがわかりました。そして、背面はすでに山の斜面となっています。かつての御杣山みそまやまであつた神路山かみじやまのふもとにあたる地でした。社殿ほくらも祠ほくらも何もない場所ですが、ここに北向きに神饌しんせんなどを置く台が置かれ、臨時の祭場が設けられたのです。

午前十時、本日奉仕する七十人もの神職たちが参道を進みました。青色の装束を身に着けた小工こだみ（宮大工）や神職の子どもの「物忌」の姿もあります。正宮を参拝した後、修祓しゅはつを受けた一行は、風日祈宮橋を渡り、祭場に入ってきました。緊張感が漂う中、御船代になる御木を伐採するにあたり、作業の安全を祈りました。

この日は、御杣山になっている長野県上松町の木曽山中で、内宮と外宮の二本の御木が伝統の「三つ紐伐ひもぎり」により、無事に伐採されました。伊勢と御杣山の木曾が繋がっていると感じるお祭りでした。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ おかげ横丁 灯りのまつり

おかげ横丁は、1993年の第61回式年遷宮の年に開業以来、地域の文化や暮らしを大切にしながら歩んでまいりました。このたび、初の試みとして、約1,500個の提灯で夜の町並みを彩る「灯りのまつり」を開催します。

期間中は、神宮への感謝を伝える「奉納行列」や「神恩感謝 日本太鼓祭」など、さまざまな催しを実施し、伊勢の秋をより深く味わっていただきます。

期 間／10月11日(土)～11月24日(月・祝) 17:00～20:00

場 所／【20:00まで】10月11日(土)、24日(金)、25日(土)、
11月23日(日)、24日(月・祝)

【19:00まで】10月20日(月)～23日(木)

開催場所／おかげ横丁一帯

入 場 料／無料

○ 第23回 神恩感謝日本太鼓祭

日本人は古来、太鼓を打つことで、暮らしの息災と豊穡を神様にお祈りしてきました。

私たちは、その伝統と精神を受け継いで、太鼓のお祭りを神宮の神様に奉納します。

全国各地から集まった太鼓打ちが、日本人のこころのふるさと伊勢の地にて、感謝と畏敬の想い、そして日々の鍛錬で高めた技で打ち込みます。

日 時／10月25日(土)、26日(日) 10:00～17:00

会 場／おかげ横丁一帯

入 場 料／無料

お問い合わせ／おかげ横丁総合案内「おみやげや」 電話0596-23-8838

五十鈴塾

○ 身体の声を聴こう～いい姿勢とは～

今回のテーマは「姿勢」についてです。正しい姿勢、悪い姿勢という言葉は我々が子どもの頃からよく聞く馴染みのある言葉だと思います。正しい姿勢とはどのような状態でしょうか。一人一人の体格の違いや、生活環境の違い、また住む地域によっての文化の違いなどもある中で、正しい姿勢、悪い姿勢の二極だけでは説明することはできないと思います。今回は「あなたにとっての」いい姿勢とは何かをお話や、レッスンの中で、身体で感じ、脳を刺激して「姿勢」について理解を深めてみましょう。

日 時／10月17日(金) 13:30～15:00

場 所／五十鈴塾右王舎

講 師／欠塚 優希(作業療法士・Bone for Life国際認定講師・NSCA-CPTパーソナルトレーナー)

参加費／一般 1,600円 会員 1,100円

講座についてのお問い合わせ・お申込み／電話0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 五十鈴茶屋節気菓子

てり 照 は 葉

木々の葉が黄色から朱色に変わり行く情景が伊勢路の山々でも見られるようになりました。粒餡の中に包んだ練り切りの紅葉をお楽しみ下さい。

な ごり づき
名 残 月

神域の夜空にぼっかり浮かんだ満月を、伊勢の人々は昔から愛でてきました。山芋と葛を合わせた生地で粒餡を包み、すすきの焼き印を押して名残月を表しました。

こす もす
秋 桜

白、薄紅、さんご色、コスモスが色とりどりに咲く伊勢志摩の秋。浮島の生地に葛寒天と羊羹を重ね、風の渡りに波打つコスモスの群れに似せました。